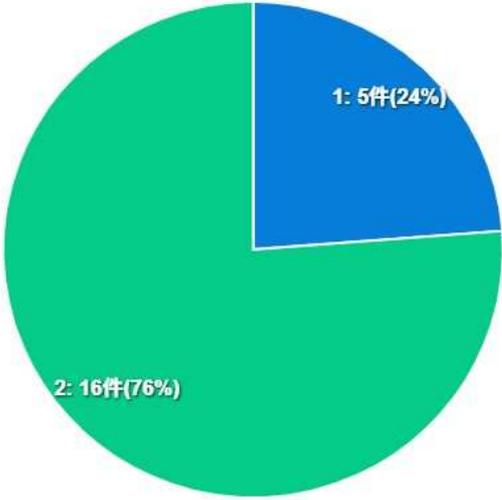
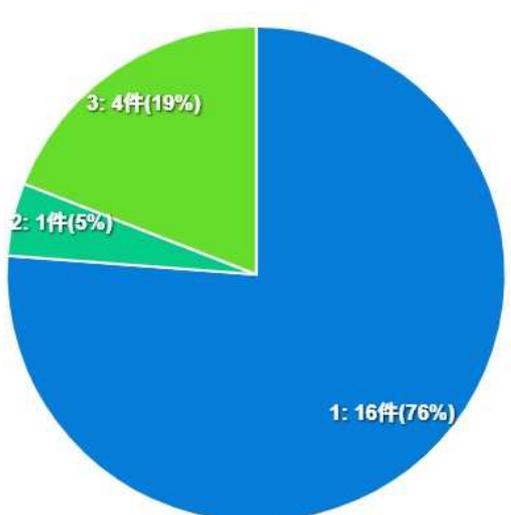


令和6年度に保健所から犬猫の譲渡を受けた方から頂いたアンケートの結果です。

(アンケートにお答えくださった方 21名 (うち犬1名、猫20名))

アンケート質問&結果	保健所職員からのコメント															
Q 1 同居している人の総数を教えてください。																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居5名(24%) :うち猫1匹飼育3名、猫複数飼育1名、犬猫飼育1名</li> <li>・2人以上同居15名(71%)</li> <li>・未回答1名(5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に何かあった時、代わりに世話をしてくれる方をあらかじめ確保し、終生飼養ができるような体制を整える必要があります。万が一に備えて家族や知人、老猫ホーム等預け先の確保をお願いします。</li> </ul>															
Q 2 現在飼っているペットの数を教えてください。																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・猫のみ飼育18名(86%) :うち猫1匹:11名、猫複数飼育:7名</li> <li>・犬と猫を飼育2名(9%)</li> <li>・猫と他の動物(カメ、へびなど)を飼育1名(5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震などもしもの時に餌や水、猫砂などのストックが必要になるため日頃から備蓄をするようにしましょう。動物を複数飼育する場合は、特に避難時の移動方法などあらかじめ確認をお願いします。</li> </ul>															
Q 3 譲渡日を選択してください。																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月～6月:猫9匹(43%)</li> <li>・7月～9月:猫10匹(48%)</li> <li>・12月～3月:犬1匹、猫1匹(9%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所に猫が持ち込まれるのは4～9月が多い傾向にあります。そのほとんどが子猫であるため、保健所に持ち込まれる猫を減らすには、不妊手術の実施が必要です。</li> </ul>															
Q 4 お譲りした猫の性別を選択してください。																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オス10匹、メス11匹(犬を含む)</li> </ul>																
Q 5 譲渡時の年齢を選択してください																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2～5か月:14匹(67%)</li> <li>・6か月～1才:4匹(19%)</li> <li>・2～6才:2匹(9%)</li> <li>・7～12才:1匹(5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所は子猫を引き取るケースが多いですが、飼えなくなってしまった成犬・成猫を引き取ることが増えています。最後まで穏やかに暮らせる場所として、新しい飼い主の方に譲渡できることは本当にありがたいことです。</li> </ul>															
<table border="1" style="display: none;"> <caption>譲渡時の年齢の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 2～5か月</td> <td>14</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>2. 6か月～1才</td> <td>4</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>3. 2～6才</td> <td>2</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>4. 7～12才</td> <td>1</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	件数	割合	1. 2～5か月	14	67%	2. 6か月～1才	4	19%	3. 2～6才	2	9%	4. 7～12才	1	5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1. 2～5か月</li> <li>● 2. 6か月～1才</li> <li>● 3. 2～6才</li> <li>● 4. 7～12才</li> </ul>
年齢	件数	割合														
1. 2～5か月	14	67%														
2. 6か月～1才	4	19%														
3. 2～6才	2	9%														
4. 7～12才	1	5%														

アンケート質問&結果	保健所職員からのコメント
Q 6 現在の犬猫の健康状態はどうか？	
・よい100%	
Q 7 主な飼育場所はどこですか？	
<b>【犬】</b> 屋内飼育 1 匹 <b>【猫】</b> ・屋内飼育のケージの中 2匹(10%) ・屋内で自由 18匹(90%)	・猫を譲渡する際、屋内飼育を譲渡の条件として説明しています。皆さんが屋内飼育してくださっています。
Q 8 所有者明示(迷子札やマイクロチップ装着など)をしていますか？	
1 している5匹(犬を含む)(24%) ・していない16匹(76%)    ● 1. はい ● 2. いいえ	
Q 9 Q8 でしていると回答された方に質問です。どのような所有者明示をしていますか？	
・首輪に連絡先を明示: 猫3匹(60%) ・マイクロチップ装着: 猫1匹(20%) ・犬鑑札・済票装着: 犬1名(20%)	

アンケート質問&結果	保健所職員からのコメント												
Q 10 Q 8 でしていないと答えた方(16名)に質問です。所有者明示をしない理由は何ですか？(複数回答)													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内で飼育している、家から出ないから:12件</li> <li>・首輪を嫌がる:5件</li> <li>・怠っている:1件</li> </ul>	<p>・屋内飼育の猫も、能登半島地震のような万が一の災害に備えて、所有者明示を猫にしてあげてください。</p> <p>・R6年度には猫の逸走の連絡が保健所に1年で127件、犬は41件ありました。特に猫は2,3日に1回逃げています。飼い主の明示をしていないと猫が家に戻ってこれなくなりますので、かならず所有者明示をしてください。</p>												
Q 11 脱走したことはありますか？													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ない 犬猫16匹(76%)</li> <li>・ある 猫5件(24%)</li> </ul>													
Q 12 Q11 であると回答された方 脱走回数、詳細と脱走防止対策を入力してください													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回脱走した。出入口をつっかえ棒で対策した。</li> <li>・ドアのロックを高齢の家族が閉め忘れたため、たまたま脱走した。</li> <li>・扉の開閉を気をつける</li> </ul>	<p>・令和6年度、岐阜市内の路上等での猫の死体収容は857匹、犬は6匹ありました。特に、猫は1日あたり約2.3匹が外で亡くなっています。外に出ると車にひかれたり、他の猫とけんかなどしてケガや病気になるケースもあります。脱走防止に努めましょう。</p>												
Q 13 譲渡後、猫に不妊去勢手術をしましたか？													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・した16件(76%)</li> <li>・していない犬1、猫3件(19%)</li> <li>・手術済みだった1件(5%)</li> </ul> <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1. した</li> <li>● 2. 手術済みであった</li> <li>● 3. していない</li> </ul> </div>  <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. した</td> <td>16</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>2. 手術済みであった</td> <td>1</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>3. していない</td> <td>4</td> <td>19%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	件数	割合	1. した	16	76%	2. 手術済みであった	1	5%	3. していない	4	19%	<p>・多くの方が不妊去勢手術を実施していただき、ありがとうございました。</p>
回答	件数	割合											
1. した	16	76%											
2. 手術済みであった	1	5%											
3. していない	4	19%											

アンケート質問&結果	保健所職員からのコメント
Q 14 不妊去勢手術はいつ、どこで実施されましたか？ 時期をみて、かかりつけ動物病院で実施が17件	猫の不妊手術を実施することは猫にとって季節ごとに訪れる繁殖期のストレスが減ったり、外に出たがることが減ります。実際保健所には、飼い猫が繁殖シーズンに外に出てしまい、妊娠して戻ってきたが、子猫が増えて飼えなくなったという相談や猫の持ち込みをされるケースがあります。今後も、適正飼養の一環として不妊去勢手術の啓発をしていきたいと思います。手術の時期などについてはかかりつけ動物病院で相談するのがベストです。
Q 15 不妊去勢手術をしていない理由は何ですか？ ・これから行う予定:猫2件 ・必要性を感じない(室内飼育:)犬1、猫1件	
Q 16 譲渡後に困ったことはありますか？	
・なし19件(90%) ・ある2件(10%)	
Q 17 困っていることを記入してください	
猫の飼い主さんから2件あり ・譲渡日の帰りに動物病院にて健康診断と便検査と血液検査をしたら猫エイズ陽性の判定でした。去勢手術の日に再度エイズ検査をしたら陰性になっていました。子猫ちゃんの場合はまれに疑陽性もあるみたいです。譲渡日から4ヶ月程は他の子達と部屋を分けて一生この飼い方でいいのかとずっと悩みながら飼育していましたが今は5匹で仲良く一緒にいます。今は困っている事はありません。 ・脱走 建具がボロボロ 爪がなかなか切れない	・新しく迎え入れる猫の伝染病の検査が実施できる体制が保健所にないため、飼い主さんが検査をした場合、譲渡後に検査で陽性がでてしまうことがあります。この猫ちゃんは後日陰性と判定が出たため、部屋を分けて飼育する必要がなくなったケースです。現在の保健所では病院のような施設がないため、最低限の検査しか実施できていませんが、今後は検査の実施についても検討していきたいと思います。 ・猫を飼育する場合、建具を傷つけてしまうことがよくあります。爪とぎやキャットタワーのように爪とぎができるものを用意してあげると良いでしょう。 ・爪切りを嫌う場合、一度に全部切るのではなく、少しずつ切り、おやつをあげるなどして切ることをおすすめします。
Q 18 犬猫を譲り受けてよかったですか？	
・よかった19件(90%) ・どちらともいえない2件(10%)(理由未回答)	

アンケート質問&結果	保健所職員からのコメント
Q 19 どんな点がよかったですか？また自由な感想をお聞かせください	
癒される。かわいい。仕事の励みになる。生活が豊かになった。(多数ありました)	・アンケートの回答から譲渡された猫たちがとても幸せに暮らせている様子が分かりました。
Q 20 どんな点がよくなかったですか？	
・意見なし	
Q 21 猫の譲渡、その他について、ぜひ自由なご意見・ご感想をお聞かせください。	
<p>・家族にとってとても癒しの子です。甘えん坊です。食いしん坊ですが、それがまたかわいいです。家族の誰かにくっついていたり、後ろをついて歩いてきたりします。時には布団の上で一緒に寝てくれます。家族がご飯を食べる時は、必ず人と人の間に入り、テーブルに手を付けておねだりをしたり、おすわりをして待っていたりします。とてもかわいいです。この子を譲っていただきこちらこそありがとうございました。</p> <p>・今、猫のおかげで幸せです。</p> <p>・出来たら譲渡して頂いた猫ちゃんの保護された時の場所や状況を教えてもらえたらと思っています。岐阜市のホームページや広報等に掲載されるとしたらいつ頃になるのかも知りたいです。</p> <p>・野良猫が減ると良いなと思います。</p> <p>・保護猫会みたいに有料ではないし、年収など聞かれなかったのが良かった。</p> <p>・まさか猫を飼うとは思っていませんでしたが、かわいいし、癒され飼って良かった。</p> <p>・また保護猫を飼いたい。先住猫が亡くなってしまって1匹では寂しそうだからです。</p> <p>・今後、もし、もう一匹迎える場合は保健所か保護猫から迎えたいと考えている。</p> <p>・最初の頃オスとは知らず、部屋中マーキングされた。最近はめつたにすることがなくなったので助かる。</p> <p>・田舎の大きな家での、家飼いは、初めてですが、脱走しないように気をつけて、1日でも、健康に共に生きてもらえるようにと思っています。食事は、カリカリを中々たべてもらえなかったり、カリカリにも好き嫌いが、あるなど、試行錯誤しながら、です。猫一匹だと、寂しいかなと、もう一匹飼いたいが、難しい。さびしがらないように触れ合いながら一緒に暮らして生きたい。</p> <p>・保健所では大変スムーズに猫を譲渡していただくことができ、有り難かったです。</p> <p>保護猫団体などから譲り受ける場合、さまざまな事情や考え方があるのは理解していますが、家まで見に来られるといった口コミを目にしたこともあり、正直なところ少し抵抗を感じていました。そのような中で、私たちが信頼し、大切な命を託してくださった保健所の方々には深く感謝しています。このご縁を大切に、これからも家族の一員として、責任を持って愛情を注ぎながら大切に育てていきたいと思っています。</p> <p>・2023年に三毛の女の子、2024年に黒の男の子。そちらから譲渡していただきました。2025年11月に18歳で犬が亡くなりました。悲しい毎日が、まだ、続いてますが、この子達が毎日癒してくれます。すごく可愛くて、一緒に寝たり、遊んだり、毎日が充実してます。毎月一回、定期的に動物病院にも行って、爪を獣医さんに切ってもらったり、体重やその他諸々毎月みていただいて、元気に育ってます。キャットタワーも、一階リビング27畳に大型のを設置し、私自身の部屋16畳にも設置し、窓にも窓用ハンモックを一階、二階設置し、室内で飼ってるので運動面も居心地も良いように、完全に猫仕様になってます。すごく居てくれて、幸せな毎日です。</p> <p>・一度、保健所から譲ってもらったらもう譲ってもらえないですか。専属の犬猫病院も行って、大切に育てます</p>	
保健所職員からのコメント	
<p>・譲渡に携わる者としてもとても嬉しい感想をたくさんいただきました。ありがとうございました。</p> <p>・皆様からのご意見を真摯に受け止め、保健所からの犬猫の譲渡の取り組みや適正飼養の推進のため情報発信し、殺処分頭数の削減を目指して取り組んでいきたいと思っています。</p>	